

昭和五十六年十二月招集

第四回館山市議定会定例会會議録

館山市議 会

目次

○第一号(十二月十二日)

開 会	六
議長の報告	六、七
追悼の言葉、黙禱	六
会議録署名議員の指名、会期の決定、会議日程の決定	七
議案第五十五号ノ議案第六十二号(提案理由の説明)	七
延 会	一〇

○第二号(十二月十四日)

開 議	一五
行政一般通告質問	一五
石井 武敏君の質問、当局の応答	一五
神田 守隆君の質問、当局の応答	二七
近藤 好雄君の質問、当局の応答	三九
横溝 功君の質問、当局の応答	四五
流山源次郎君の質問、当局の応答	五四
散 会	六一

○第三号(十二月十五日)

開 議	六五
議案第五十五号ノ議案第六十号	六五
神田 守隆君の質問、当局の応答	六六
吉田勇治郎君の質問、当局の応答	七四、七九
横溝 功君の質問、当局の応答	七五
安西 益男君の質問、当局の応答	七七

菊井 敏博君の質問、当局の応答	七八
栗原 一雄君の質問、当局の応答	七八
委員会付託	八〇

議案第六十一号、議案第六十二号

石井 武敏君の質問、当局の応答	八一
神田 守隆君の質問、当局の応答	八七
安西 益男君の質問、当局の応答	九二
菊井 敏博君の質問、当局の応答	九五
石井 輝久君の質問、当局の応答	九六
委員会付託	一〇七

勅 諭

日程の追加・公共施設等調査特別委員会の設置、付託、

委員の選任

請願第五号	一〇八
説明	一〇八
委員会付託	一〇九
請願第六号	一〇九
説明	一〇九
委員会付託	一一一
延 会	一一二

○第四号(十二月十九日)

開 議	一一六
議案第五十五号ノ議案第五十八号、議案第六十一号	一一六
総務委員会委員長報告	一一六
神田 守隆君の討論	一二〇

採決	一一一
議案第五十九号、議案第六十号	一一一
文教民生委員会委員長報告	一一二
神田 守隆君の討論	一一二
栗原 一雄君の討論	一二四
採決	一二四
議案第六十二号	一二四
建設経済委員会委員長報告	一二四
採決	一二六
請願第三号、請願第四号	一二七
総務委員会委員長報告	一二七
神田 守隆君の討論	一二七
採決	一二八
日程の追加・発議案第五号	一二八
説明、委員会付託の省略、採決	一二九
請願第五号、請願第六号	一二九
文教民生委員会委員長報告	一二九
神田 守隆君の討論	一二二
栗原 一雄君の討論	一二二
採決	一二三
議案第六十三号	一二四
説明	一二四
神田 守隆君の質疑、当局の応答	一二四
委員会付託の省略	一三五
神田 守隆君の討論	一三五

採決	一三五
議案第六十四号	一三五
説明	一三五
委員会付託の省略、採決	一三六
議案第六十五号	一三六
説明	一三六
神田 守隆君の質疑、当局の応答	一三六
委員会付託の省略	一三九
神田 守隆君の討論	一三九
採決	一三九
議案第六十六号、議案第七十号	一四〇
説明	一四〇
石井 輝久君の質疑、当局の応答	一四〇
委員会付託の省略	一四五
神田 守隆君の討論	一四五
採決	一四五
議案第六号	一四五
説明、委員会付託の省略	一四六
神田 守隆君の討論	一四六
採決	一四七
議案第七号	一四七
説明、委員会付託の省略	一四七
採決	一四八
三芳水道企業団議会議員補欠選挙	一四八
閉 会	一四八

第四回館山市議定会定例会會議錄（第一号）

昭和五十六年十二月十二日(土曜日)午前十時

二、館山市役所議場

出席議員 二十三名

一番	神田 守隆	二番	石 井 謀
四番	横 溝 功	五番	福 原 勤
八番	石 井 昌 治	九番	松 下 正 己
十一番	林 豊	一二番	栗 原 一 雄
一三番	近 藤 好 雄	一四番	渡 辺 昭 夫
一五番	伊 藤 幸 太 郎	一八番	流 山 源 次 郎
一九番	石 井 輝 久	二〇番	石 井 武 敏
二一番	吉 田 勇 治 郎	二二番	藤 田 益 治
二三番	菊 井 敏 博	二四番	和 田 一 郎
二五番	五十嵐 昇	二六番	伊 賀 多 朗
二七番	石 井 正	二八番	安 澤 德 順
二九番	安 西 益 男		

欠席議員 三名

七番	古 賀 礼 四 郎	一七番	黒 川 平 治
三〇番	山 口 康		

出席説明員

市長	半 澤 良 一	助 役	小 倉 澄 男
収入 役	太 田 博 雄	総 務 部 長	石 田 雄 一
民生 部 長	鈴 木 力	経 済 部 長	山 田 俊 康
市長公室長補佐	川 上 義 雄	水道課長	庄 司 利 光
教育委員会 長	古 宮 幸 八 郎	教育委員会 長	安 田 豊 作
委員 長	鈴 木 正	事務局書記長	蜂 谷 達 二

監査委員 鈴木 重 司
農業委員会 斎 藤 明
農務局長 角 田 巖
事務局長 庄 司 徹

出席事務局職員

事務局 長 高 尾 豊
書 記 兵 藤 恭 一
書 記 石 井 一 夫
事務局長補佐 熊 谷 吉 雄
書 記 鈴 木 哲
書 記 嶋 田 範 夫

一、議事日程(第一号)

昭和五十六年十二月十二日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

議案第五十五号

千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

議案第五十六号

館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十七号

工事請負契約の締結について
字の区域及び名称の変更に
について

議案第五十八号

館山市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第六十号

館山市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第六十一号

昭和五十六年度館山市一般会計補正予算(第六号)

議案第六十二号 昭和五十六年度館山市水道事業特別

会計補正予算(第二号)

開 会 午前十時六分開会

○議長(林 豊君) 本日の出席議員数二十四名、これより昭和五十六年第四回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長 の 報 告

○議長(林 豊君) この際、御報告申し上げます。
吉田勇治郎君には、このたび地方自治功勞により、藍綬褒章受章の榮に浴されました。

ここに、この榮着をたたえ、御報告申し上げます。

追 悼 の 言 葉

○議長(林 豊君) なお重ねて御報告申し上げます。
本市議会議員押元 稔君には十一月二十二日午前三時三十七分急逝されました。ここに謹んで哀悼の誠をささげ御報告申し上げます。

このことについて伊賀多朗君より發言を求められておりますので暫時これを許します。

(二六番議員伊賀多朗君登壇)

○二六番(伊賀多朗君) ただいま議長から報告のありましたとおり、押元議員には十一月二十二日急逝されました。
ここに、同僚議員の御同意をいただき、議員一同を代表いたし

まして、謹んで追悼の言葉を捧げます。

君は、資性潤達にして志を社会公共に置き、昭和十六年館山市消防団に入団し、旺盛なる責任感と犠牲的精神をもって終始一貫消防行政に尽瘁され、昭和四十八年より館山市消防団副団長の要職に就任、消防の発展に多大な貢獻をなされました。

さらに、昭和五十年には衆望を担い館山市議会議員に当選、自来、議会人としての職責に徹し、館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議長、経済委員会委員長、三芳水道企業団議会議員、各種委員会委員を歴任、市政の振興に寄与され、今後ますます活躍が期待されておりましたところ、任期半ばにして忽然として不埒の人となられましたことは、誠に痛恨のきわみであります。

いまや、地方行政は複雑多様化の一途をたどり、本市におきましても難問が山積し、君の豊かな経験と卓越した識見にまつべきものがあるとき、君を失いましたことは本市にとりましても大きな損失であり、込み上げる哀惜の情を禁じ得ません。

常日頃、元気に登庁された姿もいまはなく、君の議席である一六番は空席となってしまったのであります。

いまここに、君の議席に花束を捧げ、その功績をたたえ、温容をしのび、心から御冥福をお祈りいたしまして、追悼の言葉といたします。

黙 禱

○議長(林 豊君) この際、故押元 稔君の靈に謹んで黙禱をささげ、御冥福をお祈りいたしたいと思ひます。
御起立願ひます。黙禱始め。

(起立、黙禱)

○議長(林 豊君) 黙禱を終わります。御着席願います。

議長の報告

○議長(林 豊君) 本定例会議案審議のため、地方自治法第二百十一條の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

なお、市長から、地方自治法第八十條の規定による専決処分及び監査委員から、九月乃至十一月実施の監査の結果が報告されております。それぞれ、お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長(林 豊君) ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。配付漏れはございませんか。――配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長(林 豊君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。
一二番議員栗原一雄君、二四番議員和田一郎君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長(林 豊君) 日程第二、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会議事協会の意見は、本十二月十二日より十二月十九日までの八日間ということであります。

お諮りいたします。会期を八日間と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって会期は十二月十二日から十二月十九日までの八日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長(林 豊君) 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会議事協会の意見により作成いたしました。

本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長(林 豊君) 日程第四、議案第五十五号乃至議案第六十二号の各議案を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明

明を求めます。

提案理由の説明

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 提案理由の説明に先立ちまして、まず吉田議員さんに一言お祝いの言葉を申し上げたいと存じます。

このたび、多年にわたる地方自治功労に尽力されました功績によりまして、藍綬褒章受章の栄に輝かれました。まことにおめでとうございます。ここに日ごろの御尽力に対し感謝いたしますとともに、心からお祝い申し上げ、今後とも市政のため御支援、御協力賜りますようお願い申し上げます。

次に、去る十一月二十二日御逝去なさいました市議会議員故押元 稔氏に対しまして、生前の御活躍、御協力を深く感謝申し上げますとともに、心から哀悼の意を表する次第であります。

さて、本日、ここに第四回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては年末御多忙のところ御出席を賜り誠にありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例関係議案三件、一般議案三件、補正予算二件であります。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第五十五号千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてであります。千葉縣市町村公平委員会を共同設置する関係市町村等のうち、印旛し尿処理組合の名称が変更されたことに伴い、千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正しようとするため、千葉縣市

町村総合事務組合長から協議があったものであります。

次に、議案第五十六号館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。これは国の四週一回交替半休制の実施に伴い、館山市におきましても、国の制度に準じて改正しようとするものであります。その内容は、当分の間、役所を開いたまま職員が順次交替で、四週間に一回の土曜日の半日を、従来の日曜日に加えて休みとする四週五休方式を基本として実施しようとするものであり、これを昭和五十七年三月二十八日から施行しようとするものであります。

次に、議案第五十七号工事請負契約の締結についてであります。館山市コミュニティ施設用地造成等工事に係る指名競争入札において落札に至りませんでしたので、最低の価格をもって入札した者から見積書を徴した結果、一億三千五百五十万円をもって鹿島建設株式会社と随意契約の締結をしようとするものであります。工事内容としては、表土削除工事、山砂盛土工事、道路工事、排水工事及び擁壁工事等で、造成面積は三万九百六十平方メートルであります。工期は、昭和五十七年十月三十一日までとするものであります。

次に、議案第五十八号字の区域及び名称の変更についてあります。これは、転換水田整備事業の一環として土地改良法第九十六条の二第二項の規定により事業を施行し完了したので、地方自治法第二百六十条第一項の規定により館山市大字龍岡字西ノ原、西ノ下、西條、作、原田、矢戸の各一部の字の区域及び名称を変更しようとするものであります。

次に、議案第五十九号館山市立中学校設置条例の一部を改正す

る条例の制定についてありますが、館山市立西岬中学校を同第二中学校に統合いたしましたして学校規模を適正にして教育効果を期待するものであります。

次に、議案第六十号館山市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定についてありますが、館山市立西岬中学校が同第二中学校に統合しました跡に同東小学校と同西小学校とを統合いたしましたして館山市立西岬小学校を設置し、学校規模を適正にして教育効果を期待するものであります。

次に、議案第六十一号昭和五十六年度館山市一般会計補正予算（第六号）であります。歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ二億千六百六十万円を追加し、総額九十三億七千七百四十八万円としようとするものであります。

歳出のうち、主なものとしまして、総務費では、来年度から建設が予定されますコミュニティ施設建設工事設計等委託料として二千三百五十六万七千円の追加。

民生費では、入所者の増等による老人ホーム収容措置扶助費七百四十八万四千円、受給件数の増等による老人医療扶助費三百三十万二千円、私立保育園における乳児保育、長時間保育等児童福祉推進のための補助金として二百八十五万円の追加。

衛生費では、ごみ処理場建設用地の選定に関連する出野尾、西長田地区給水工事負担金について水道事業特別会計において実施した入札による減額分として三百二十五万円の減額、このほか今年度不足分として予想されます燃料費等で三百十五万円の追加。

農林水産業費では、農業費におきまして地域農政の円滑な推進を図るための自動車購入関係費としまして六十五万六千円、水田

利用再編対策転作促進特別対策事業補助金二百六十二万二千円の追加、これは水田の転作を推進するため乾田化等を図るものであります。また、ほ場整備事業調査設計委託料で二百六十三万五千円の減額であります。これは当初沼地区において実施する予定でありましたほ場整備事業の地形調査等について、地元の都合で中止せざるを得ない状況となり、新たに宝貝地区において実施することになったものであります。

水産業費では、漁業者の生活の安定向上と安全操業の確保を図るために、各事業主体に対し交付する未利用資源開発促進事業補助金として百二十万円、小型漁船の操業安全化等の推進費補助金として二百二十一万六千円、下原漁港整備工事費として二百二十八万円の追加。

商工費では、昭和五十五年度に実施した花摘園の管理運営の状況をふまえて今年度はその方法を変更することに伴う郷土美化植栽委託料で二百十八万円の減額。

土木費では、道路維持補修材料費二百万円、市道七号線ほか二路線の道路改良並びに舗装工事費として千万円、都市計画街路八幡高井線整備のための用地購入費等で三千五百八十四万四千円の追加、城山公園用地購入費で五千三百四十六万六千円の減額であります。これは今年度当初予定した国庫補助対象事業費が減額となったことによるものであります。また、館山運動公園整備事業負担金で二千二百万円の減額、これは今年度県営工事における国庫補助事業の減に伴う当市負担分の減額によるものであります。

教育費では、教育総務費におきまして、西岬地区小学校の統合を実施するため施工する西岬地区通学用道路工事費で六千三百五

十二万二千元、用地購入費で五千二百六十七万九千円の追加。

小学校費では、館山小学校床張替工事費百九十万千円の追加、船形小学校防音改築工事費で実施単価の減により三千九百六十一万七千円の減額。

幼稚園費では、昭和五十八年度改築を計画しております館山幼稚園建設事業のうち用地造成を来年度実施するための設計等委託料及び用地購入費で八千七百六十万五千円の追加、博物館費では博物館分館建設工事費で入札の結果により四百万円の減額。

保健体育総務費では、昭和五十七年三月十四日実施予定の第二回若潮マラソン大会委託料として二百三十四万四千円の追加。

災害復旧費では、豪雨、台風による昭和五十六年災害についてすべて国庫補助対象として認められましたので、この補正として市道大戸畑線ほか五カ所の復旧費二千二百十二万九千円の追加をお願いするものであります。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源として分担金及び負担金、国、県支出金の特定財源で三千六百九十八万円、その他を繰越金等の一般財源をもって充当しようとするものであります。

このほか地方債補正としまして、道路整備事業債ほか三件に係る変更をお願いするものであります。

次に、議案第六十二号昭和五十六年度館山市水道事業特別会計補正予算（第二号）であります。収益的収入の予定額を三百二十五万千円減額し、総額五億六千七百五十三万三千円に、収益的支出の予定額を百四十二万四千円減額し、五億千三百三十五万八千円に、資本的支出の予定額を二十六万四千円追加し、総額二億八

千四百六十七万九千円にしようとするものであります。

収益的収入の内容といたしましては、出野尾、西長田地区の給水装置工事が完了し、受託工事収益の額が決定したための減額であります。

また、収益的支出の主なものとしていたしましては、作名ダムの貯水量減少による河川からのくみ上げに要する動力費の不足、並びに路面復旧費の不足が見込まれますのでこれらを追加するとともに、受託工事費及び一時借入金利息につきましては、予定額を削減しようとするものであります。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、なお、ただいま上程されました議案第六十一号昭和五十六年度館山市一般会計補正予算（第六号）が可決されました場合には、西岬地区通学用道路用地及び館山幼稚園用地の購入に係る財産の取得についてを、また人事院勧告等に基づきまして一般職員の給与を改定いたしたく、館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について並びにそれに伴う人件費の補正をする必要がありますので、昭和五十六年度館山市一般会計、同国民健康保険特別会計、同ユースホステル特別会計、同水道事業特別会計、同国民宿舎事業特別会計の各補正予算を、それぞれ追加議案として上程をお願いする予定であります。

何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わります。

○議長（林 豊君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延

会 午前十時二十八分延会

○議長（林 豊君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明十二月十三日は議案調査のため休会、次会は十二月十四日午前十時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。各議案の質疑通告の締め切りは十二月十四日正午まででありますので申し添えます。

○本日の会議に付した事件

一、 追悼の言葉

一、 会議録署名議員の指名

一、 会期の決定

一、 会議日程の決定

一、 議案第五十五号乃至議案第六十二号

